

# 篠ノ丸城址 の調査

山崎の街を見渡す篠ノ丸城は、南北朝時代に赤松顕則が築き、天正8年(1580)に羽柴秀吉に攻められ落城した後に、この地を統治した秀吉の家臣「黒田官兵衛」が居城した「山崎の城」ではないかとも言われていますが、篠ノ丸城に官兵衛が居城したとする証拠はまだ見つかっていません。

篠ノ丸城の全貌解明に向け、昨年6月に航空レーザ測量を行い、今年2月にはその成果をうけて遺跡調査が実施されました。

## 【レーザ測量】

県内の山城で初めての試みとなる航空レーザ測量で作成した赤色立体図では、城の構造や郭の規模、防御施設などが詳しく分りました。(広報しそ2013年12月号参照)

## 【発掘調査】

主郭や土塁と堀の関わりを解明するため、トレンチ調査が行われました。土塁は、地山の堅く締まった明黄褐色粘質土上に、鈍い

黄褐色粘質土を盛っているものの、締めりがなく、単に土を盛ったイメージがありません。堀は浅く幅もありませんが、レンズ状の堆積がみられることから、堀として機能したことは間違いないようです。

建物跡などの発見には至りませんでした。

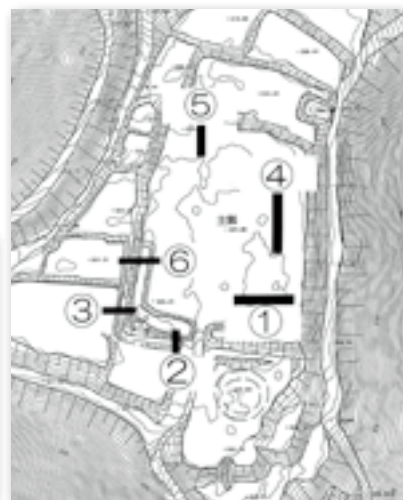
## 主郭内部

表土下10〜15センチメートルで赤褐色粘質土の地山層と地山の土壌化した土層を確認しましたが、遺構の検出には至りませんでした。位置図④⑤から、土師器皿片と厚手の土師器片が出土しました。

## 土塁・堀の関係

主郭土塁と堀の位置関係を確認するため調査した主郭虎口西の位置図②では、想定した位置に土塁と堀を検出しましたが、堀は表土下約50センチメートルにて底面を検出、堀幅は約1.8メートル程度と比較的小規模なものでした。

位置図⑥では、表土直下に鈍い黄褐色の粘質土を検出し、西側郭では明黄褐色粘質土(郭の整地



▲トレンチ調査位置図



▲②堀・土塁の状況



▲⑥土師皿出土状況

層(直上(表土下約30センチメートル)で土師皿が出土しました。現時点では、建物跡などの発見には至っていませんが、今後、調査結果をもとに解析が進められ、歴史の謎が紐解かれる日が訪れることが期待されます。

## おいでよ 図書館へ



穴粟市立図書館 ☎ 62-4620

## レファレンスサービス

こんなことについて知りたいけれど、そんな本あるのかな?などの質問に答えるのが、レファレンスサービスです。

図書館や各図書室で気軽にお尋ねください!



## 今月のオススメ

## 野菜で探す「健康食合わせ」手帖

著者/松村 真由子

野菜がもつ健康効果や豆知識が満載です。疲労回復、免疫力アップ、老化防止、血行促進などの効能別に、野菜その他の食材の組み合わせ方やレシピも紹介。



## 赤ちゃん子どもの祝いごと歳時記

編者/生活たのしみ隊

## 図書館カレンダー

□休館日 □館内整理日(休館)  
【開館時間】午前10時〜午後5時30分

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |    |    |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |    |
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

## 編集後記

4月に入り季節はすっかり「春」となりました。新年度となり新生活をスタートさせた方も多いのではないのでしょうか。

“新しい”といえば先月、建て替えられた山崎小学校に行ってきました。山崎小学校卒業生である私にとっては、思い出がたくさん詰まった旧校舎が無くなってしまい寂しい思いもありましたが、新しくなった校舎で元気いっぱい過ごす子どもたちを見ると、とても嬉しい気持ちになりました。これからは、この新しい校舎でたくさんの思い出を作ってくれることと思います。最後になりましたが今年度も広報しそをよろしく願いいたします。

石